ニッケイ新聞
JORNAL NIKKEY SHIMBUN
DIRETOR PRESIDENTE
RAUL M. TAKAKI
JORNALISTA RESPONSÁVEL
Aldo Shiguti , MTb 36.982
Rua da Glória, 332 - Liberdade
CEP 01510-000 - São Paulo - SP - Brasil
Tel (11) 3340-6060 | www.nikkeyshimbun.jp

福音派団体のワクチン契約発覚

保健省の局長が後押しも
連邦政府契約の数倍の額

ダヴァティ社の疑惑深まる

委託販売員が保健省の局長（当時）からコロナワクチン購入の条件として賄賂の支払いを要求されたと証言して注目を浴びた米国ダヴァティ社が、非政府団体（ＮＧＯ）と共に保健省を訪れ、ワクチン購買契約を結ぼうとした上、この団体がアストラゼネカ社とヤンセン社のワクチンを保健省が購買契約した以上の価格で地方自治体に売ろうとしていたとの疑惑が浮上している。コバクシン疑惑などに続き、ワクチンに関する新たなスキャンダルとなっている。１～５日付伯字紙が報じている。

フラヴィオ上議とアミウトン牧師（Twitter）

ダヴァティ社と福音派団体によるワクチン売り込み疑惑は、１日付のサイト「アジェンシア・プブリカ」に報じられたのをきっかけに、一気に広まった。このことは、ダヴァティ社の伯国代表クリスチアーノ・カルヴァーリョ氏がかわしたメールの内容などで明らかになった。

その報道によると、ダヴァティの委託販売員ルイス・パウロ・ドミンゲッティ氏は３月４日、非政府団体（ＮＧＯ）「人権問題全国事務局（Ｓｅｎａｈ）」の代表で福音派牧師のアミルトン・ゴメス・デ・パウラ氏と共に保健省に赴き、４億回分のアストラゼネカ・ワクチンの契約を行おうとした。そのときに提示されたワクチンの価格は１回分につき１１ドルで、連邦政府が同ワクチンの伯国窓口であるオズワルド・クルス財団（Ｆｉｏｃｒｕｚ）との間で交わした契約価格の３・１６ドルや、インドのセーラム研究所との間で交わした完成品購入価格の５・２５ドルを大きく上回っている。

また、この団体が３月に、伯国南部の州や市を中心に、まとまった量のアストラゼネカ・ワクチンを迅速に供給すると書面で伝え、購入契約を促していたことも明らかになった。

さらにアミルトン・ゴメス牧師が連邦議会の福音派部門で強い影響力を持ち、大統領長男のフラヴィオ上議とともに写っている写真も同時に報じられていた。

１日は上院のコロナ禍の議会調査委員会（ＣＰＩ）でダヴァティの委託販売員ドミンゲッティ氏が、保健省ロジスティック局長のロベルト・ジアス氏からアストラゼネカのワクチン１回分につき１ドルの賄賂を要求されたとの疑惑の証言を行った日でもある。

ドミンゲッティ氏はこの日、ゴメス牧師を介して、保健省の関係者とコンタクトをとったことも証言している。また、同ＮＧＯは、ドミンゲッティ氏は人道的な理由で伯国やラ米各国にワクチンを販売しようとしていると語っている。

３日、グローボ局のニュース番組「ジョルナル・ナシオナル」が、ドミンゲッティ氏がゴメス氏と共にワクチン購入契約の話をするために３月４日に保健省に赴いたときに対応した保健省側の人物の一人で、保健省との話を仲介していたのが保健省伝染病局長のラウリシオ・モンテイロ・クルス氏であったと報じたことで、Ｓｅｎａｈに関する疑惑はさらに広がった。それによるとクルス局長は、実際に契約された額よりもさらに高い、一回分につき１７・５ドルの価格でアストラゼネカ・ワクチンを契約させようとしていたという。

さらに、この報道で明らかにされたゴメス牧師の３月４日付のメールには会議の様子が写った写真が添付されており、その中には、同牧師がクルス局長とともに写ったものもあったという。

その後の報道では、ダヴァティは２０２０年６月に米国テキサス州で創設された会社で、米国内の社員は３人しかいないこと、ワクチンの販売はしておらず、輸送専門であること、大統領派の下議ロベルト・デ・ルセナ氏（ポデモス）がＳｅｎａｈのワクチン契約を促進するような法案を下院で進めていたなどの疑惑も報じられている。

東西南北

３日も全国で、ボルソナロ大統領に対する大規模な抗議デモが起きた。このところは、大統領本人、連邦政府にまつわる疑惑も、コバクシン購入に関するものやアストラゼネカ社ワクチンへの１ドルの賄賂要請疑惑だけにとどまらず、週末には福音派団体による大量のワクチン契約疑惑がテレビのニュースを賑わせた上、週が明けたら今度はボルソナロ氏自身のラシャジーニャ関与疑惑まで浮上してきている。コバクシンや賄賂の疑惑は今後も、上院のコロナ禍ＣＰＩでの証言でいろいろなことが判明することが必至で、こちらの話題もまだまだ尾を引きそうだ。下院での大統領罷免審議は進む気配はないが、それ以前に、こうも疑惑が続くと支持率低下で苦しくなる。

◎

聖市では５日から、４１歳を対象としたコロナワクチンの接種がはじまっている。また、４０歳を対象とする接種が、８日から７日に前倒しされるし、１０日は４０～４４歳の未接種者への接種も予定されている。いずれにせよ、今週中には市内の４０代以上への初回接種は終わりそうな勢いだ。接種のペースが上がっているのは良いことだが、５０代が対象だった６月は、保健省への納品数が減ったこともあってか、ワクチン切れを起こす会場が続出したので、くれぐれもそういうことのないよう、願いたいところ。

◎

４日のサッカーの全国選手権。サンパウロは本拠地モルンビでの対ブラガンチーノ戦に１―２で敗れた。前半に１点を先制したのに、後半に逆転された結果だ。これで９節を終えた時点で４敗５分で、サンパウロは依然として勝ち星がない。逆に、ブラガンチーノは負けなしの６勝３分で首位を堅持。試合の消化数はまだおよそ４分の１だが、一大旋風となりそうだ。

リチ　憲政委員長に先住民女性
ピノチェト憲法大幅改正へ

チリで４日、憲法改正のための制憲議会の議長に先住民の女性学者エリーザ・ロンコン氏が選ばれた。５日付伯字紙が報じている。

現行の同国憲法は、同国の独裁者だったアウグスト・ピノチェト元大統領が１９９０年に独裁を終える際に制定したもので、租税法などが国内の貧富の差を生み出す元凶となっているとして、かねてから国民の間で改正を望む声が強かった。国民の不満の高まりは２０１９年１０月から数カ月にわたって行われたデモとなって表れ、ピニェラ大統領が改正を約束することになった。

また、今年５月に行われた制憲議会の議員を選ぶ選挙では与党が惨敗。これで憲法の大幅改正は避けられなくなっていた。

議長を決める選挙は４日に行われ、先住民マチュペ族の出身で大学教授のロンコン氏と大統領派のハリー・ユルゲンセン氏との対決となったが、一次投票の時点で５８対３６、決戦投票で９６対３３でロンコン氏が当選した。ロンコン氏は２０１９年のデモに参加したときに注目を浴びた女性だ。

同議会は男性７８人、女性７７人と男女比がほぼ均等で、先住民の議員も１７人いる。

反ボルソナロ・デモ
３回目も全国で大規模開催
聖市では暴力行為も発生

３日、全国３００市以上で、５月以降３度目となるボルソナロ大統領に抗議するデモが行われた。参加人数など、規模の面では盛り上がりを見せたが、聖市では暴力行為が起こるなど、問題も生じた。３、４日付伯字紙、サイトが報じた。

大統領に対する抗議デモは５月２９日、６月１９日にも行われており、３回目となった今回は、本来ならもう少し間隔をおいて行われる予定だったが、２回目のデモのすぐ後にインド製のコロナワクチン「コバクシン」購入に関する疑惑が浮上したことにより、急遽早められ、３日のデモとなった。

聖市でのデモ（Roberto Parizotti）

今回のデモは全国の州都など、少なくとも３１４市で行われ、国外でもパリ、ベルリン、ウィーン、チューリッヒ、ジュネーブ、ブリュッセルといった欧州の都市での開催が報告された。

デモの主体となっていたのは今回も労働者党（ＰＴ）や民主労働党（ＰＤＴ）、ブラジル社会党（ＰＳＢ）、社会主義自由党（ＰＳＯＬ）や中央労組（ＣＵＴ）などの労組だったが、今回のデモには保守派からも参加があり、聖市のパウリスタ大通りで行われたデモに民主社会党（ＰＳＤＢ）関係者３００人ほどが参加して、話題となった。

ただ、今回は、これまで比較的穏便に行われていたデモに比べると暴力的なものも目立った。聖市のデモでは、バス停のガラス張り部分の破壊、コンソラソン地区で銀行支店に放火、マッケンジー大学構内での破壊行為などが見られた。

こうした行為に対し、ジョアン・ドリア聖州知事は遺憾の意を表明。デモの標的とされたボルソナロ大統領も、「デモの目的は国民の健康のためでも、民主主義のためでもない」と批判した。

メディアは今回のデモも大きく報じたが、アルトゥール・リラ下院議長は罷免審議を進める意向がないことを明らかにしている。

反ボルソナロ・デモはこの後、右派に広がる可能性を見せている。大型政治団体のブラジル自由運動（ＭＢＬ）のキム・カタギリ下議（民主党・ＤＥＭ）は８日に、同団体が主催するデモの開催概要を発表する意向を明らかにしている。

コロナ禍
感染者や死者の減少続く
接種効果明白だが油断大敵

【既報関連】新型コロナの予防接種が進む中、感染学上の第２６週（６月２７日～７月３日）の感染者や死者は前週比で２９・４％と９・１％減り、明るい見通しを口にする人が増えている。

保健省の統計での４日現在の感染者は前日比で２万７７８３人増の１８７６万９８０８人で、７日間の新規感染者の平均は４万９８８７人／日となった。１日平均の感染者数が５万人を切ったのは２月２４日の４万９３８８人／日以来だ。

また、死者は前日比で８３０人増の５２万４４１７人で、週間の平均は１５６３人／日だった。この数は３日現在の１５５０人／日を若干上回るが、６月３０日の１５６５人／日以降、１５００人台を保っている。

また、感染学上の第２６週の新規感染者は３５万５１３１人で１日の平均は５万７３３人に、死者も１万８５２人で１日の平均が１５５０人に減少した。

２日付Ｇ１サイトなどによれば、オズワルド・クルス財団（Ｆｉｏｃｒｕｚ）は、１日の平均死者数が６月１９日の２０７５人／日以降減少している主要因に、２度目の接種も完了した高齢者が６０％（７０代以上ならなお高率）を超え、６０歳以上の死者が減少している事を挙げている。

現在の死者は６０歳未満が過半数を占めている。

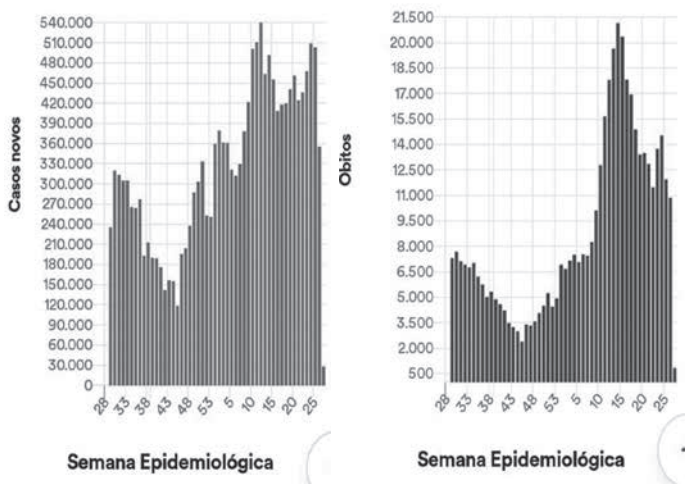
また、予防接種の普及や、感染率が１００万人あたり８万９３１７人に上昇し、抗体を持つ人が増えてきている事、社会的な距離の確保やマスク着用、外出規制などの対策が続いている事、集中治療室の占有率の低下も挙げられている。アストラゼネカ社やファイザー社のワクチンは２度目の接種までが長いが、初回接種だけでも相応の重症化予防効果がある。

現在の伯国は、感染が広がっている状況下で感染者が平均何人にうつすかを表す実行再生産数も１以下となり、感染拡大が鈍化し始めている。

ただ、予防接種は重症化や死亡する事を高率で防ぐが、２度の接種を受けた後も感染する可能性があり、感染すれば周囲の人にうつし得るから、油断大敵だ。この事は、予防接種率が高く、閉鎖空間でのマスク着用義務を解いたイスラエルが、インド株（デルタ株）流入で感染者が増え始めた事などで着用を義務化した事でも明らかだ。

６月末時点の伯国内のデルタ株感染者は１１人（２人が死亡）で、４月１８日にパラナ州で死亡した妊婦が同株による国内初の死者だった事が６月２６日に公表された。５月に同株感染が確認された同州在住の７１歳の女性はこの妊婦を訪問した人の親戚だった事も判明しており、同州では女性の親族も含めた市内感染が起きていた可能性がある。ただし、同州でのデルタ株の感染状況の解明は不十分で、４月２５日～５月１日（感染学上第１７週）以降続いた、感染者や死者の増加との関係は不明だ。

国内外の研究によると、感染力が強いデルタ株やガンマ株（マナウス株）感染者では、従来株感染者に多かったセキや発熱、味覚や嗅覚の喪失という症状が減り、頭痛や鼻水といった強めの風邪のような初期症状を訴える人が多いという。



感染者や死者の週毎の推移（保健省公式サイトより）

風邪に近い症状のデルタ株

フォーカス
ＧＤＰは５・１８％成長
インフレ予想はまた高進

５日に発表された経済動向予測調査「フォーカス」によると、今年の国内総生産（ＧＤＰ）の成長率予想は５・０５％から５・１８％に、インフレ予想は５・９７％から６・０７％に各々、上方修正されたと同日付伯字サイトが報じた。

フォーカスは金融機関など１００社以上を対象にした調査で、市場関係者が現状や今後をどのように見ているかを示す。

今年のＧＤＰ成長予想は上方修正され、５・１８％となったが、来年の予想は２・１１％が２・１０％にと、若干、下方修正された。２３年と２４年の予想は２・５％で据え置かれている。

また、政府の公式インフレ指数であるＩＰＣＡ（広範囲消費者物価指数）の予想値は、５・９７％から６・０７％に上方修正された。ＩＰＣＡの予想値が上方修正されるのは１３週連続だ。

この予想値は中銀の通貨政策委員会（Ｃｏｐｏｍ）が定める公式のインフレ目標の中央値である３・７５％はもちろん、上限の５・２５％も超えており、中銀がどのような対応を取るかが注目されている。インフレ目標は、上下１・５％ポイントが許容範囲で、上限を超えた場合、中銀はその理由や具体的な抑制策の提示が求められる。

来年の予想は３・７７％のままで、２３年と２４年の予想も３・２５％で据え置かれた。

インフレ高進を受け、Ｃｏｐｏｍは既に、次回会議で経済基本金利（Ｓｅｌｉｃ）を引き上げる事を示唆している。年末時点の基本金利は６・５％、来年末は６・７５％と予想されている。

年末時点の為替の予想は最近の動向を反映し、１ドル＝５・１０レアルから５・０４レアルに修正された。

ニッケイ新聞出版、宮坂国人財団・アリアンサ日伯文化連盟協賛
ブラジル版いよいよ販売開始!
日ポ生活会話ガイド
o Jeitinho no Japão para os brasileiros
ブラジル人のための ニッポンの裏技
Guia Prático para viver no Japão
暮らしに役立つ日本語便利帳
▶日本語とポルトガル語の勉強にすごく便利
▶面白くて分かりやすい
▶画像付き日常生活の会話
▶カテゴリー別、辞書付き
▶日本の生活ガイドにも
前版大好評 全巻売り切れ!!
特別価格 R$50
ご注文・お問い合わせ先
詳しくはニッケイ新聞社 11-3340-6060 担当マリアまで
郵便でのご注文の方は、●太陽堂 ●フォノマギまで
●ニッケイ新聞社 11-3340-6060 ●太陽堂 11-3208-6588 ●フォノマギ竹内書店 11-3104-3399

ニッケイ新聞 NIKKEY SHIMBUN (11) 3340-6060
【営業時間】
月曜～金曜日：祝日を除く　午前９時～午後４時
01510-000・Rua da Glória, 332
Liberdade - São Paulo - SP
購　読＝nikkeyshimbun@yahoo.com.br
広　告＝anuncio@nikkeyshimbun.jp

13日静岡へ「メダル持ち帰る」

（上）

「両親やお世話になった人、仲間の想いを背負って、なんとしても金メダルをブラジルに持って帰ります。ぜひ日系社会の皆さんも応援してください」――東京五輪柔道部門への出場を控えるエドアルド・ユージ・サントス（Eduardo Yudy Santos）さん（26歳・三世・2段）は、日本人のような日本語でそう意気込みを語った。いよいよ23日から始まる「東京オリンピック・パラリンピック」を前に、柔道部門にブラジル代表として出場する、日本生まれ・日本育ちの三世のエドアルド・ユージ・サントス選手を6月24日に取材した。

ユージ選手（本人提供）

同選手はサンパウロ市にある名門スポーツクラブ「ピニェイロス（Esporte Clube Pinheiros）」にプロ柔道選手として所属する。リオ・デ・ジャネイロ五輪テスト大会優勝やパンアメリカ柔道選手権大会優勝、世界軍人選手権大会優勝、パンアメリカン競技大会優勝などの輝かしい成績を持つ。6月13日にハンガリーで行われた国際柔道連盟（IJF）の「世界柔道チャンピオンシップ」では、東京五輪出場条件である世界ランキング18位入りを果たした。

東京五輪柔道に出場するブラジル代表は13人。うち日系ブラジル人は4人出場。同クラブからは6人が出場する。

ユージさんは同クラブで元五輪メダリストのチアゴ・カミーロ氏（Tiago Henrique de Oliveira Camilo）氏とレアンドロ・ギリェイロ（Leandro Marques Guilheiro）氏の指導の下、東京五輪に向けて連日稽古に励んでいる。同氏は13日に日本入り、そのまま静岡で隔離と強化試合を行った後、27日に81キロ級として個人戦に、30日には90キロ級として団体戦の試合に挑む。

☆

曽祖父母がブラジル移住し、祖母の故イナバ・マサコさん（二世、日本国籍）はブラジル人と結婚。その娘でユージさんの母レイラ・デ・ブリト・サントス（Leila de Brito Santos）さんは夫ジェレミアス・アントニオ・ドス・サントス（Jeremias Antonio dos Santos）さん（ブラジル人）と共に、日本に戻っていたマサコさんに会うために1992年頃に訪日した。

マサコさんが当時住んでいたのは茨城県下妻市で、時あたかもデカセギブームの真っ最中。訪日をきっかけに二人は工場労働をすることに決め、そこで1994年にユージさんが生まれた。

柔道は4歳から「下妻市スポーツ少年団」で始めた。当初は姉が柔道に興味をもったことに加えて、ユージさんがわんぱくだったことから両親が道場に入会させたという。

「子供のころは少しやんちゃだったので、両親に『人の痛みをわかりなさい』と言われて柔道を始めた。始めてみると相手の痛みを分かるよりも、勝つことのほうが楽しくてストレス発散になりましたけど…」と恥ずかしそうに笑みを浮かべた。

4歳から柔道を始めたユージさんだが、小学5年生から約2年間はサッカー部で活動していた。

「当時サッカーが流行っていたので、自分もやっていました。成績はそんなに良くなかったですが…。そんな中学一年生の時に柔道部の顧問に『試合の人数が一人足りないから柔道経験のあるユージが出てくれないか?』と頼まれ出て、2試合中1試合で負けたんです。その負けが悔しくて悔しくて見返したいという思いから柔道を再開しました。復帰後は県大会に優勝、全国大会にも出場しました。素行が悪かったからか、あまり高校の推薦は来ませんでしたが…」と苦笑いを浮かべる。

（続く、淀貴彦記者）

試合時、相手に技をかけるユージさん（国際柔道連盟提供）

郵便事情

ブラジル宛ては小包船便受付け

日本宛を受付ける当地郵便局も

日本郵便株式会社は日本からブラジルに向けての国際郵便を、「船便扱いの小包郵便物」のみ受け付けている。

一方で、6月30日付けのお知らせでは、12月下旬以降にブラジル宛てで出された船便扱いの小包に遅延が発生している。

日本郵便は該当郵便物が送り先に届いていない場合など、ブラジル国内での郵便物取扱状況の調査を行うため引受け局か最寄りの配達局への問合わせを呼びかけている。

詳細はサイト（www.post.japanpost.jp/int/information/overview.html）で確認を。

なお、ブラジルから日本行きの国際郵便は、だいぶ前から郵便局によって受付けているところがある。

マナウス

荻野正裕総領事が着任

慰霊碑に献花、抱負述べる

在マナウス日本国総領事（荻野正裕総領事）は6月24日、移住先没者慰霊碑に献花を行った。今月9日に着任した荻野新総領事の当地における最初の行事となった。

「日本人の移住者とその子孫の皆様が重ねられてきたご努力とご苦労に心から敬意を表します。在マナウス日本国総領事として仕事を始めるにあたり、まず慰霊碑を訪れたいと思っていました。当地日系社会の更なる発展に向けて、力を尽くして参ります」と意気込みを語った。

慰霊碑の献花に際し、西部アマゾン日伯協会の錦戸健会長と岡本健理事に迎えられ、慰霊碑建立の経緯や同州での日系移民の歴史などの説明をうけた総領事は、「先人たちのご苦労、ご尽力の上に今の日系社会がある」と強く実感した様子。

今年は国士舘高等拓殖学校卒業生（高拓生）の入植から90周年にあたる事を受け「当地日系社会のさらなる発展に向けて、力を尽くしたいです」と述べた。

同地の状況について「今年初めは大変な状況のようでしたが、多くの市民の方がワクチンを接種されながら、多くの困難を勤勉さと誠実さをもって乗り越え、ブラジルの発展に貢献し、今では厚い信頼を得ていることに深く感銘致しました」とブラジルで勤務したいという想いを強く抱くきっかけになったという。

今後は「コロナ禍での在留邦人の安全確保に努め、必要な情報を積極的に発信」「日本企業の一層の活躍に向けた支援」などを重点的に行っていくとの抱負をのべた。

左から岡本理事、錦戸会長、荻野総領事

群馬県リスタート・コミュニティー

一周年迎え活動を振り返る

高齢者対策が今後の課題？

【群馬県発＝國分雪月記者】群馬県大泉町のブラジリアンプラザ（日本海外協会、林隆春会長）で26日に定例会が行われ、約20人が参加した。6月20日に一周年を迎えた「リスタート・コミュニティー支援センター」の活動を振り返り、今後の課題を話し合った。

昨年6月20日にブラジル人を中心とする外国人生活困窮者の一時的な保護、職業紹介を行う同リスタート・コミュニティーを開設し、今までに126人を受け入れた。開設当初はコロナ禍の影響による若い世代の失職者の利用が多かったが、段々と年齢層が上がり、就職口を見つけることが難しくなっている。

ほかにも家庭内暴力の被害者やアルコール依存症の人が利用するケースもあったため、精神病や依存症などの問題を抱える人への今後の対応を検討していく。

また、昨年9月からは同支援センター利用者の食糧確保のため、フードバンク活動をはじめた。フードバンク活動とは、企業などから飲食物の寄付を受け、生活困窮者に配布する活動のことだ。現在までに企業など9団体から約29トンの寄付を受け、約23トン配布した。

今月から毎週土曜日に食料が必要な世帯への配布もはじめ、本当に食料が必要か確認し食料を渡している。日本を含め11カ国の世帯が群馬県内だけでなく近隣の県からも受け取りに来るそうだ。12日は48家族、19日は80家族と増加傾向にある。さらに使用済みのランドセルの寄付を受け、必要な家庭に再配布している。

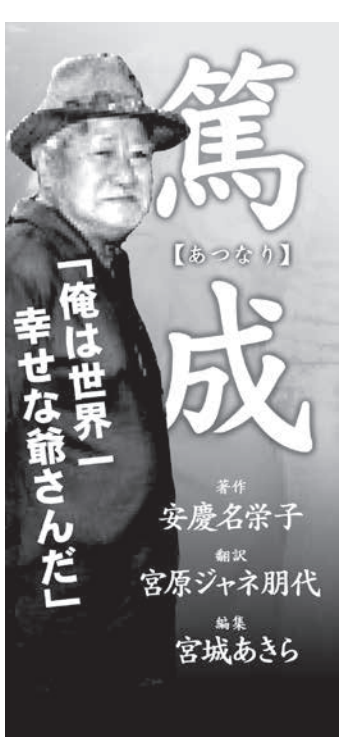
記念のケーキカット

林会長は一年間を振り返り、「昨年は非正規の仕事の減少が問題となったが、今は高齢者向けの仕事の減少や生活の維持が問題となっている。日系社会の家族の孤立化も進み、外国人共同供養墓も作った。昨年はじめと現在で需要の変化があるため、次にどのような対応が必要かこの会で考えていきたい」と語った。

定例会後は支援センターで世話人を務めるキクタ・ペドロさんが一周年記念のケーキカットを行った。

ブラジル東京海上は
安心と安全の提供を
通じて、豊かで
快適な社会生活と
経済の発展に
貢献します。
TOKIO MARINE SEGURADORA
NOSSA TRANSPARÊNCIA, SUA CONFIANÇA

BANCO SUMITOMO MITSUI BRASILEIRO S.A.
SMBC
みんなで止めよう温暖化
チーム・マイナス6％ www.team-6.jp



（33）

すると、誰かから、「じゃあ、手分けして、交代でその日のおかずを持ってくるようにしたら」という案が出されました。

「僕は卵を持ってくる！」と、即座に運転手の方が言いました。「私は野菜を！」とか、「私はソーセージを！」と、あちこちで意見が飛び交い皆大賑わいになってしまいました。

和気あいあいの雰囲気で、常に「品質、時間厳守、誠実」をモットーとした私たちの会社にはすでに21人の従業員がいました。お客様を第一に、尊敬心を忘れずに仕事を進めたので、会社の収益も最大限に達していました。

毎日毎日神様に感謝し、その日の始まりと終わりには必ず「ありがとうございます」、「おまもりください」、と祈るのでした。

チリから遥々いらしたあの経営者が教えて下さった加工法のおかげで生産量が増え、更に藤本工機の機械を購入し、品質が上がったうえ洗浄加工過程の材料の節約にも大きく影響し、おかげで生産量が3倍にも上がったのです。

あっという間に時が過ぎ、工業用クリーニングを始めて3年目になった時、ようやく父が調達して下さった頭金を返す事が出来ました。マリオは利子もつけなくてはと言いましたが、父は断じてもらいませんでした。マリオはその感謝の気持ちを表し、テレビ一台と沖縄までの往復チケットを父と兄にプレゼントしました。兄にとっては初めての日本行きの旅行でした。

第20章　夢

篤成が最初に沖縄へ再渡航したのは1964年、祖母、安村マツの米寿祝の時でした。兄恒成の末っ子が誕生した年だったのでみんなよく覚えています。当時はまだ船旅で、片道45日間の長旅でした。

ブラジルに移民した時から父は、生活費を差し引いた後のお金はすべて沖縄の私の祖父のところへ送ったのです。

祖父は、戦争の時期には銀行にお金を預けては危ないからと、父が送金した分を、兄たちの遺族年金も含めて全て土地に変えて置きました。

今回の日本への旅は、大きな夢がかなっていたのです。私は嬉しさのあまり、ますます仕事に没頭してしまいました。

そんな状態を見たマリオは、「いい加減にしろ。少しは休むようにしなさい。日本はすぐそこにあるんじゃない。あそこまでの旅は30時間もかかるのに、何も感じないのか」と。

私は何も考えたくなかった。長時間の旅だとわかっていても、心配したってなにも変わるわけではないと考えていました。神様に任せる。そう決心していました。

そして、旅行が好きだったら、父がそれで幸せを感じるのだったら、いっぱい、色んなところへ旅をさせよう。

そう思うようになりました。

第21章　従業員への感謝

深夜23時過ぎの事でした。仕事が終わって家に帰る途中、警察の車が私たちの車の後からついてきました。パルケ・ノ―ヴォ・ムンドから出て、チエテ通りを経てタツアッペーの橋を渡り、サリン・ファラ・マルフィにたどり着いたときにその警察の車が私たちの車の横に並び、「ジャポネイス、どうだ、大丈夫か?」と聞きました。

明治維新の立役者（１）

西郷隆盛の人となり いったいどんな人？

ジアデマ　松村　滋樹

鹿児島市に行って西郷隆盛のお墓を見たいとタクシーを呼ぶと、運転手さんはニコニコ顔で「せごさーにご案内しもそ」と喜ぶ。西郷隆盛は鹿児島でせごどん（西郷殿）とかせごさー（西郷さん）と呼ばれて今でも愛されている。西郷の豪傑さと愛嬌さに現代人はなぜ惹かれるのだろうか。藩主島津斉彬から目玉と呼ばれた西郷は、まるで黒曜石の様な目をしているとイギリス人通訳のアーネスト・サトウを感動させている。

一、少年時代

一八二八年一月、下級武士の集まる鹿児島市加治屋町に生まれ、貧しい少年時代を過ごした。鹿児島も冬は寒い。ふとんは一枚しかないので西郷吉之助（隆盛）は足だけつっこみ六人の弟妹に掛けてあげた。

やさしいが腕力には自信があり、相撲では負け知らず。身分が低いとはいえ、武士の子として懸命に武芸に励む。

十三歳の時、友達の喧嘩の仲裁に入って相手の刀で右腕内側の腱を傷つけてしまった。三日間、高熱にうなされたが命は助かる。絶望の淵から立ち上がり、学問で生きていくことにした。

黒曜石の目をした西郷隆盛
（出典:近世名士写真 其１国立国会図書館）

薩摩隼人は「ぼっけもん」といわる剛毅者が多い。幼い子供まで「飛ぼかい、泣こかい、泣こよっかひっ飛べ」と叫びながら屋根から飛び降りる。

真摯な文武練磨は武芸と教育。加治屋町の地域ごとに二才（ニセ、青年）が稚児（幼少年）を教育するを郷中（ごじゅう）教育がある。西郷は二才頭になった。

特に「弱いものをいじめるな」「嘘を言うな」「負けるな」を大切にした。母満佐も「貧乏は恥ではない。貧乏に負ける事が恥だ」と教えていた。

無参和尚に禅を学び、大久保次右衛門に世の教えを乞うている。大久保の息子で友人の一蔵（利通）は西郷とは誠忠組の同志である。

二　人生を変えた事件

十六歳の時、郡方書役助の役職を与えられ、郡方奉行迫田太次右衛門利済に師事し、大きく影響を受けた。迫田は重税に苦しむ農民の窮状を憤り、役所の門に「虫よ　虫よ　いつふし草の根を断つな　断たばおのれも　共に枯れなん」と書いて貼った。役人が農民に過剰な税を課すことは、自らを自滅に導くことに繋がると暗に風刺し、そして迫田は郡奉行を辞職する。迫田は「国の根本は農民である」と教えた。

西郷自身も藩内の水田を隈なく回って、農民の厳しさを肌で感じ、自然と愛農思想が芽生える。

薩摩藩は七七万石の大藩と言われているが、水田は所領の三割しかない。桜島初め十一の火山が活動した跡があり、シラス台地やシラス低地の耕地に向かない土地が多い。

西郷は迫田から勧められ藩に建白書や意見書を出し続けた。名君と謳われた島津斉彬の目に留まり、庭方役に任命された。

名君と謳われた薩摩藩主島津斉彬
（出典：ウィキペディア）

初めて斉彬に拝謁した西郷は涙が出んばかりに感激し、「この人のためなら喜んで命を捧げよう」と誓った。

斉彬は西郷と接する度に「この若者は、必ずものになる」確信し、愛情を持って一人前の人物になるよう教育した。（続く）

脳梗塞１４年を振り返って ３

平間浩二

２０１８年に入り、１１年目なので病は完全に治ったのではと思っていた。しかしその矢先、１月と５月に立て続けて発作が襲った。

この時、一気に逝ってしまえば、家内にとって大変な苦労を掛けずに済んだのだが、運命はそう簡単にさせてくれなかった。

「亭主関白」と「短気」で家内を長年に亘り苦しめた「因果応報」により、今度は私の番であった。

３度目の時は容体が重く、３か月ほど全く動けずに寝返りを打つことも出来なかった。身体中が痛み出し眠れない夜が何日も続いた。奈落の底で這いずり回っているような地獄の毎日が続いた。

食事、排便は自分ではできず、家内の献身的な介護が無ければ、今の自分はなかった。黒く床ずれができたが幸い皮膚が破れなかったので、必死に寝返りを打つようにした。

少しずつ身体が動くようになったので、出来る限りのリハビリを始める。腕、腿から下は麻痺しているが、腹筋運動、自転車漕ぎ、手のひらの開閉等、徐々に増やしてゆく。ベッドに座れるようになったので歩行器を駆使し、スクワットを始め、足踏みも開始した。

半年後には、歩行器を使ってテーブルまで行き、指は麻痺しているが何とか一人で食べられるようになった。スプーン、フォークを使っていたが、このままでは指が動かなくなると思って箸も使うことにした。最初は掴むことができなかったが、徐々に掴めるようになった。食事に大分時間が掛かったが、家内の作る料理の腕前は、プロ級なので美味しく、毎日の食事が楽しみである。

トイレも一人で用を足し、シャワーも出来るようになった。年金生活者にとって、介護士を雇うことは全くの不可能であったので、これで家内の負担も大分軽くなり、ストレス解消になったのではないかと安心した。家内には絶対に健康であってもらいたい。家内の健康を毎日祈っている。

日記は、渡伯以来書き続けてきたが、容体の悪化で一時は、書くことができなかった。食事ができるようになると同時に日記も書くようにした。当初は、ミミズが這ったようなもので字と思えない文字であったが、リハビリと思って書いているうちに、文字らしい文字になってきた。

日記を書くに当たり、出来る限り電子辞書を使って漢字を書くようにしている。病気以前、忘れていた漢字も大分書けるようになった。ボケ防止に最良の薬である。パソコンも以前より時間はしと伝わってきます。

そうした中で、日本では総人口や労働人口、子供人口などの減少が社会問題として日々取り上げられ、「人手不足」という言葉が社会の中で飛びかっています。

終身雇用が崩壊し、人材派遣会社の存在が大きくクローズアップされ、正規と非正規社員というふたつの雇用形態が生まれ、今日に至っています。

日本政府は、人口減少にともなう労働人口の減少に歯止めをかけられず、海外にその活路を求め、南米から日本人移住者（戦前では移民者）の子孫で日系ブラジル人と呼ばれる日本人の血をひく二世そして三世の人々を、またフィリピン、韓国、中国そのほかのアジアの国々から労働力として迎えいれました。

ブラジルからは、１９９０年代に始まった出稼ぎブームで日本の労働市場を埋め尽くすほどの人数、当時３３万人が日本へ渡りました。これは戦前戦後にブラジルへ渡った日本人移住者（推定２５万人）をはるかに越える数です。

今はコロナ禍の中でも２１万人と推移しています。そのほかのアジアやアフリカの国々からも留学生、日本語学校生徒、実習生、日本政府が直接呼び寄せ、技能実習生といわれる青年男女の方々と今外国人の数は在日（日本国籍をもっていない両親の元で日本で生まれた二世・三世の方々）を含め２００万人以上という数字もでております。

各地方の小さな町にはコムニダーデがあり、助け合っていきている様子がＮＨＫの番組で紹介されています。

３０年前から始まったこの出稼ぎで一時的には労働市場はうるおいましたが、総合的に見渡すと解決してきたという印象はありませんが確実に外国人の人々は増加しております。（続く）

漂流する出稼ぎ

「日系ブラジル人の日本での行く着く先は」１

アチバイア　松岡岩雄

全国でコロナ感染拡大が進む中、開催される運びとなっている五輪。これらの問題に立ち向かう関係者の精神的、肉体的な苦痛はピークに達しております。日本人の責任感と幸福、希望に向かって突き進む気持ちがひしひし伝わってきます。

晩秋や一途に励む　ホ句の道　浩二

PIADAおとぎ話

佐々木寛一

毎日毎日、真面目なことばかりで面白くないので、走り書きする。

自粛生活の毎日。今日もまた人通りはほとんどない。用事のため、１人歩く者と申せば、ほとんどマスクで顔を覆いどんな人相か判らぬ。泥棒とあれば尚更。時折、自動車が走り出し、アメリカ西部時代の映画を思わせる。幻の町のごとく、何時までこの。パンデミアが続くか想像難し。

晴天の時は近くの散歩。不注意すると散歩犬の糞を踏むので要注意。

期待して期待なく最寄りのＬＯＴＥＲＩＣＡでＭＥＧＡ―ＳＥＮＡとＬＯＴＥＦＡＣＩＬを賭けて結果待ち。長いこと続く。

賭けても当たるのは難しいが、賭けねば尚更のこと。

ここでブラジル人との交際でよくするＰＩＡＤＡを一つ。どの国の民と申せば失礼に当たるので申しかねるが、毎朝両手を合わせて「神様、大きなＳＯＲＴＥが当たりますように」と根気よく祈る者がいた。ついに神様もその根気に参り、ある朝その者に声を掛けた「お前が大当たりを望むなら、少額でもいいから金を賭けなさい」と。

また、ある者が健康に異常を感じ、医師の診断を受けた。すると「お前の肝臓は害されているので、速やかにピンガを飲むのをやめなさい」と注意された。

病院からの帰り道、肉屋で肝臓を購入し、半分は水に、また半分はピンガ漬けにしてみたところ、水漬けはすぐに腐敗したが、ピンガ漬けは変化が無いとわかり、「医者の言葉は信じかねる」と申したという。

日本のオリンピック開催が間近にせまった。当方はブラジル人だが、日本選手に活躍して欲しいとも思う。日本人の血が流れているからか。

毎日残金をしぼり食べているが、生きるために食べているのか食べているのかなどを考える。

生まれつき魚釣りは止められず、しかし、自粛生活のため行かれず。そのうち行けるようになっても大きな魚を釣りあげることもできないのではないかと心配など想像してすごすのんきな身分なり。待てば海路の日和あり。待ちましょう。

写真の行方

サンパウロ　鎌谷　昭

コロナウイルス感染予防で外出自粛を要請されると、高齢者にとってそれは外出禁止に匹敵する。

感染状況が少しずつ明らかになってくると高齢者の感染は死に直結するケースが高く、いやでも外出は控えざるを得ない。

時間ができ、がらくた整理にとりかかった。私たちの年齢はどういうわけか物が捨てられない。これもあれもいつかきっと役に立つ、として保管してある。どこになおしたのかチャンと記憶しておれば直ぐに役立つのだが、その点があやふやでどうでもいいものが増える。捨てることができる人は幸せな人だと思わざるをえない。

基準を設けた。この一年全く使わなかったもの、そして使いそうにないものは捨てる、と。少なくとも４割がたが片付いていく。

作業場周辺が済むと次は家の中。

本、書籍の類がずいぶんあるがこれらは古本販売市があるからコロナ騒動がもう少し落ち着いたら何とかできそうだ。

特殊な図鑑がある。日本の蝶、家畜家禽類、世界の蝶、など原色で、とりわけ蝶図鑑は蝶採取を始めた時に役立った。

ブラジルの蝶は種類が多く、色彩豊かだからそれを仕事にしたい、と同船者の一人が考えついたとき参考になったようだ。

当時関心の高かったモルフォ蝶の採取から人工ふ化、装飾加工へと進めば多少何とかなったかもしれないが、彼の考えは蝶をプラスチックに埋め込み、保存して、装飾観賞するのを目的としたので、同業者がいて相手は蝶を台湾から輸入するから競争にならず断念したらしい。

オザスコには蝶を人工ふ化して年中観賞できる「蝶園」がある。あそこなら受けとってくれるかな、と期待している。

最後はアルバムの写真類。

友人に写真の整理についてどうしているか訊ねてみると「私には思い出深い写真でも子供には無用の長物。涙を呑んで処分しました」と言う。なんとなくその情景がわかるようで納得した。

さて、私のアルバムには、私が幼児の頃の写真はわずか二葉しかなかった。親父と一緒に写ったものが二葉。

少なすぎる。しかし、「引揚者が手荷物として携帯できたのはこれが限度だったのか」とこの歳になって初めて、女手一人で外地から家族を引き連れ帰国した母親の大変さが理解でき、グッと胸に来た。

アルバムの写真は、伯国に暮らす私の長男にも一度どうするか聞いてから整理の仕方を考えようと思う。

昔の写真には、たった一葉の写真にも一杯の思い出が詰まっている。お金を貯めて最初に買ったカメラは二眼レフ。そのカメラで撮った親友との一枚。色褪せもせずしっかりと写っている。見つめているだけで小さな物語が自然と湧きあがってくる。もう一度記憶を新たにし、さようならを告げた。

一喜一憂と反面教師

サン・ジョゼー・ドス・カンポス　小林音吉

知り合いのＫさんは健康に関して大変気を使っている健康オタクです。先日も我が家を訪れ、真っ先に見せてくれたのは健康診断の病理検査表でした。

そこには血圧・脈拍・体脂肪率・血液検査などのデータが載っています。彼によると先月、検査した時のデータと比較して血糖値が著しく上昇していることに気付かされました。他にも明らかに前回とは異なる検査結果が散見していたとのことでした。

わずか一カ月の間にこんなに違いが出るものなのかと、とても心配していました。私がまず疑ったのは、検査表の取り違えです。「赤の他人のそれと自分のを、手違いで誤って送ってきたのでは?」です。

結果その通りでした。

また、ある会合の中に、相手を怒らせたり、嫌がったりするのを観察し、その反応を見て喜ぶ人がいました。言われた本人が不快さを見せれば見せるほど楽しくなるタイプの人です。

このタイプは他人を良く観察（動物的な勘が働き）初見でその人の性格や弱点などを見抜く能力があります。

段々皆から相手にされなくなっていくので、人の心を踏みにじることに関して鈍感でもさすがに自分が好かれている、尊敬されているとは思っていないようです。

とても損な人ではないかと思っています。

また、たいした能力も人望も無いくせにただ人様の上に立ちたい、その挙句人を見下し命令したがるタイプの人もいます。

自分について語る内容がないと、不思議なほどに、社会的に成功した友知人のことを、聞いてもいないのに、あたかも自分のことのように自慢そうに話すのです。

私たちが知りたいのは、目の前にいるあなたのことであって、他のお人のことではないのに。よっぽど話題に乏しいお人なのでしょう。

かっての同僚であったスイス人のクルツさんは、昔騙されて詐欺の被害に遭いました。その時のことを私に語ってくれました。

彼によれば、騙した相手を恨む気持ちは変わらないが、それよりも騙された無知な自分に腹が立っていると言っていました。

高い授業料を払ったとも言っていました。その後彼は独立して金属加工会社を立ち上げ今日に至っています。

騙されたことを教訓にして自らを戒め、慎重に生きて来たお陰で彼の今日があるのです。

息子達と飲んだ時、私が人様のことを批判したりすると長男は必ず私にこう言って戒めるのです。「その言葉は総て親父に返って行く」と…。

正に『負うた子に浅瀬を教わる』とはこのことでしょう。しかし、黙って聞いてくれて欲しかったのに酔いが一遍に醒めるような一言は老いの身には堪えます。

嫌な奴らの放言・暴言をかわすには、相手の挑発に乗らないだけでなく、「だからそれがどうした」ぐらいの鈍感さを各人が持つべきではないかと思っています。

すなわち一喜一憂しないことでしょう。

またそのような反面教師が居るお陰で、学ばせて貰うこともあると捉えれば済むことだと思うようにしています。

ここまで書いてきて、自分はどうなんだと自問自答すると、人様を批判する資格なんか全くないことに気付かされます。なぜなら私の中にも同じような心があるからです。

自分自身の存在や行為言動そのものがある特定の相手に対して反面教師となっているのかも知れませんから…。

半世紀以上お世話になり生かされてきたこの国と人々に感謝して短歌を一首（同行誌に発表済）

「完璧を　求めなければ　良い国だ　国も個人も　発展途上中」

以上お粗末さまでした。

「猫寺」人気、参拝者招く

栃木、ＳＮＳ２１万フォロー

【共同】栃木県那須町の寺院「長楽寺」の会員制投稿サイト（ＳＮＳ）のアカウントが話題を呼んでいる。飼い猫６匹の日常の写真や動画が人気で、ツイッターのフォロワー数は２１万人。実際の猫を一目見たいと全国から参拝者が増加し、鈴木祥蔵住職（５９）は「猫を通して寺に親近感を持ってもらえれば」と語る。

法衣姿で朝食をとる住職の周りに、おやつをもらおうとわれ先に集まり、鳴いて訴えかける三毛やサバトラ柄の猫たち。住職が本堂でのお勤めを終わるのを外で出待ちする姿。その様子が投稿されると「朝から癒やされる」「かわいい」とコメントが寄せられている。

始まりは２０１５年。墓地の分譲のためにホームページを作成し、告知の幅を広げるため妻の繭子さん（４７）がツイッターを開設した。当初閲覧数は伸び悩んだが、何げなく投稿した猫の動画が注目されフォロワーが急増。鈴木住職は「こんなに喜んでもらえるとは意外だった」と振り返る。

フォロワー数が伸びると、実際に参拝者が北海道や福岡など全国から訪れるようになった。１８年からは猫の顔の形をしたお守りも販売し、参拝者に喜ばれているという。

猫たちは敷地内にある住職の家で室内飼いされていて、参拝者が直接ふれ合う機会は少ない。「猫に会えなかった」と残念がる人もいるが、繭子さんは「猫たちは気まぐれな性格。温かく見守ってほしい」と呼び掛ける。参拝時間は午前９時～午後４時の間、お守りを売る家の玄関先で会える可能性もある。

猫をきっかけに寺や住職の日々の活動についても知ってもらおうと、猫が登場しない、お経読みなどの様子も投稿するようにしている。住職は「観光寺でもない田舎の小さな寺だが、猫たちが全国の人とご縁を結んでくれた」と笑った。

投稿者にお願い

◎新聞や雑誌の文章を書き写したものは、著作権侵害となります。一部引用する事は可能ですが、その際は引用部分を分かりやすく明記し、出典を記入して下さい。

◎読みやすい書体で１千字以内にまとめてください。多すぎる場合は掲載できないことがあります。

◎写真の掲載も可能です。ただし、返却はできませんので、あらかじめコピーを取るようにして下さい。

◎順番に掲載しておりますので、掲載が遅れることがあります。ご了承下さい。

◎電話番号と住所をご記入ください。

◎Ｅ・メールでの投稿を歓迎します。

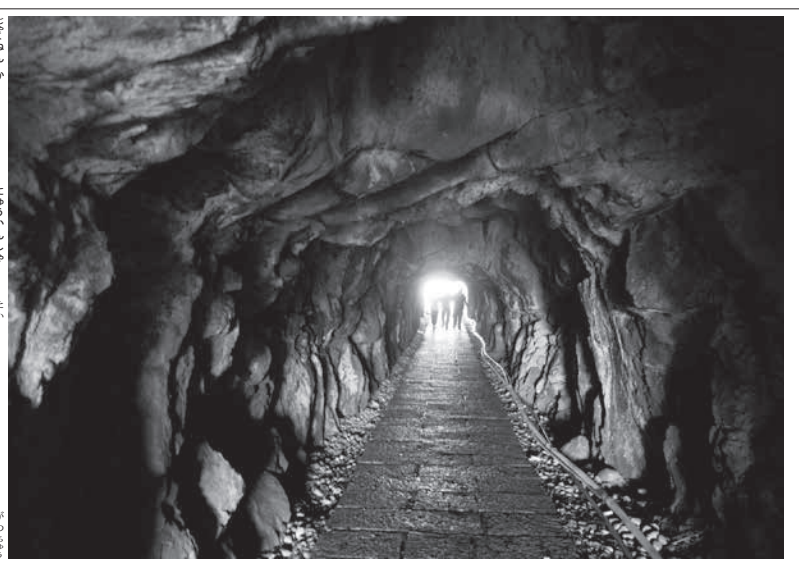
◎送り先はニッケイ新聞「ぷらっさ」係。

Ｅメール bungueｉ.nk@gmail.com

《記者コラム》

樹海

拡大版



長い、長いトンネルの先にようやく光が（写真AC、作者：taiwan_camera さん）

若年化するコロナ入院者

長い、長いトンネルの先に、ようやく明かりが見えてきた感じがする。米国はすでにトンネルを抜けた感じだが、ブラジルはこの４月が最悪だった。

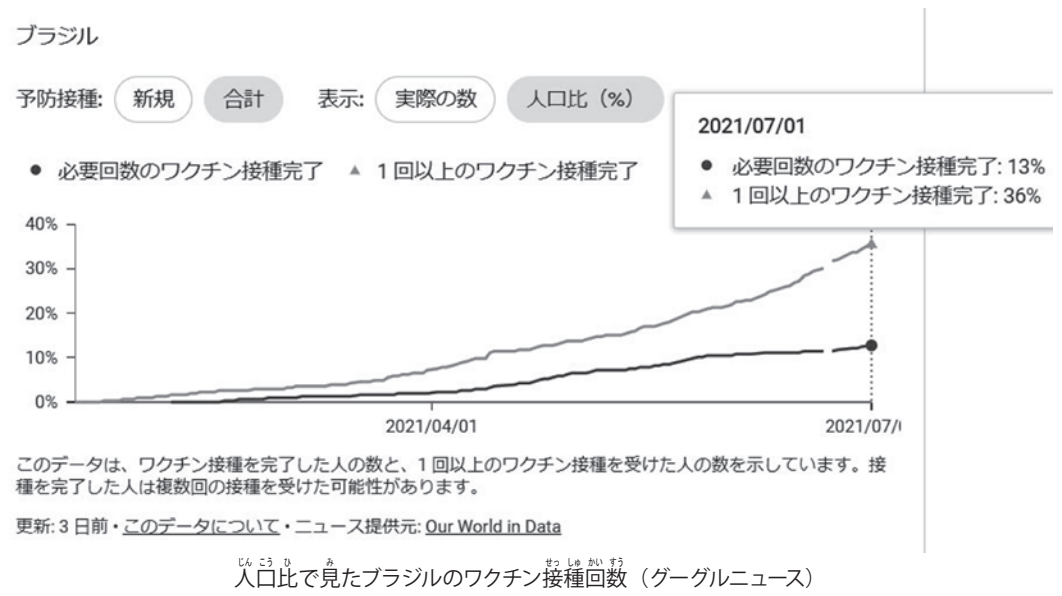
ワクチンの供給がかなり安定してきたことで、接種のスピードが増し、１回目の接種を終えた人が全伯で３５％を超えた。聖州に限って言えば、成人の５３％は１回目を終えた。

聖市では４０代前半まで接種年齢が下がっており、コロナに罹患して重症化しやすい６０歳代以上の大半は、１回目の接種を３～４月に終え、５～６月には２回目も終えたタイミングだ。２回目を終えて２週間すれば抗体ができるので、７月中には重症化率が大きく下がる可能性がある。

実際、フォーリャ紙６月２９日付《コロナ死者・入院者が６０歳代でも減少》（※記事リンクは全て３日参照＝https://www1.folha.uol.com.br/equilibrio/oesaude/2021/06/mortes-e-internacoes-por-covid-19-agora-tambem-encolhem-na-faixa-dos-60-anos.shtml）によれば、全伯で６０歳代が３月から４月にかけてワクチン接種を行ったことで、４月末から明らかに死者・入院者が下がっているという。

４月半ばの６０歳代のコロナによる入院率は全体の２３％を占めていたが、接種の進展に伴い、６月中旬には１１％まで落ちた。６０歳代のコロナ死亡者数も４月中頃には全体の２９％を占めていたが、６月中頃には１６％まで落ちている。

別の記事UOLサイト６月２１日付《聖市のコロナ入院者の５７％は４０～５０歳代》（https://www.uol.com.br/vivabem/noticias/redacao/2021/06/21/57-dos-internados-com-covid-19-em-sp-tem-entre-40-e-50-anos-dizsindicato.htm?u）によれば、医療施設組合SindHospの調査では、以前は大半が６０歳代以上だった聖市の私立病院に入院するコロナ患者が、６月半ばの時点では５７％が４０～５０歳代になった。６０歳代以上は１９・７７％まで減った。



人口比で見たブラジルのワクチン接種回数（グーグルニュース）

昨年11月初め水準まで戻る死者減少傾向

６月も死者数が２千人前後を維持していたことは、死者の年齢層が入れ替わっていることを意味している。かつては高齢者の全般がこのカテゴリーに含まれていたが、６月後半には４０～５０歳代の持病持ちの人が中心になっていた。この層に接種が進んだことで、さらに入院者が若年化する流れになる。

ただし、コロナで命を落としやすい高齢者層が接種を終えれば、今後、死者数自体がどんどん減る傾向になる。持病さえなければ、若者は感染してもあまり重症化しない傾向があるからだ。

７月２日付G１《コロナ死者５２万２千人だが死者数の減少率も最高》（http://g1.globo.com/bemestar/coronavirus/noticia/2021/07/02/com-522-mil-mortos-por-covid-brasil-tem-maior-tendencia-de-queda-nos-obitos-d/）によれば、２日の死者数は１８７９人と世界的に見ても大変多い。だが、７日間平均の死者数は１５４２人まで落ちており、この数字は第２波のピークの直前の３月８日の数字（１５４０人）にほぼ等しくなった。１４日前の７日間平均と比べると、２６％マイナスになっており、この下落率は昨年１１月１１日に記録したものに等しいと報道されている。

４月にピークを迎えた第２波が勢いを失ってきたのと同時に、ワクチン接種が進んだことで、第２波の前兆を示した昨年１１月後半以前の死者数減少率の状態にまで戻りつつある。

パンデミックの長いトンネル、出口の明かり見えたか？

５月２０日付Ｅｘａｍｅサイト《サンパウロ市成人の半分以上がコロナの抗体を持つ》（https://exame.com/brasil/mais-da-metade-dos-adultos-em-sao-paulo-tem-anticorpos-contra-a-covid/）によれば、USPとサンパウロ連邦大学、フレウリ・グループが、今年４月末から５月初旬に実施した抗体検査によれば、聖市（人口１２３３万人）の１８歳以上の大人の４１・６％が抗体を所持していた。これに当時のワクチン接種率約１０％を加味すれば、すでに大人の半分以上、５１％は抗体を持っている状態だと報告した。

公式統計では聖市のコロナ罹患者は１１０万人だが、実際には３５０万人、３倍の罹患者いることが分かった。とはいえ、同記事には《集団免疫である７０～８０％まではほど遠い》と書かれており、さらなる警戒を呼びかけている。

昨年７月の同調査で抗体を持っている大人は１１％だった。５月２７日現在で聖市のコロナ死者は累計３万１７１人もおり、聖市人口の４０８人に１人がコロナで亡くなった計算になる。

ちなみに３日時点の東京都（１３９６万人）のコロナ死者は累計２２２２人だから、６２８２人に１人。聖市の１５分の１にすぎない。「１００万人当たりの死者数」を比較すると、７月１日時点でブラジルは２４４６人、日本は１１６人で２１分の１に過ぎない。ブラジルが上にグイグイと伸びているのに対して、日本はグラフの下にベタッと張り付いている。この差はどこからくるのか。

恐ろしいのは、聖市の昨年１年間の死者は約１万７千人だが、今年は最初の５カ月間で１万５７４６人と、ほぼ近い数字になっていることだ。聖市市民の４１％が抗体を得るまでの代償は、とてつもなく大きかったことが分かる。

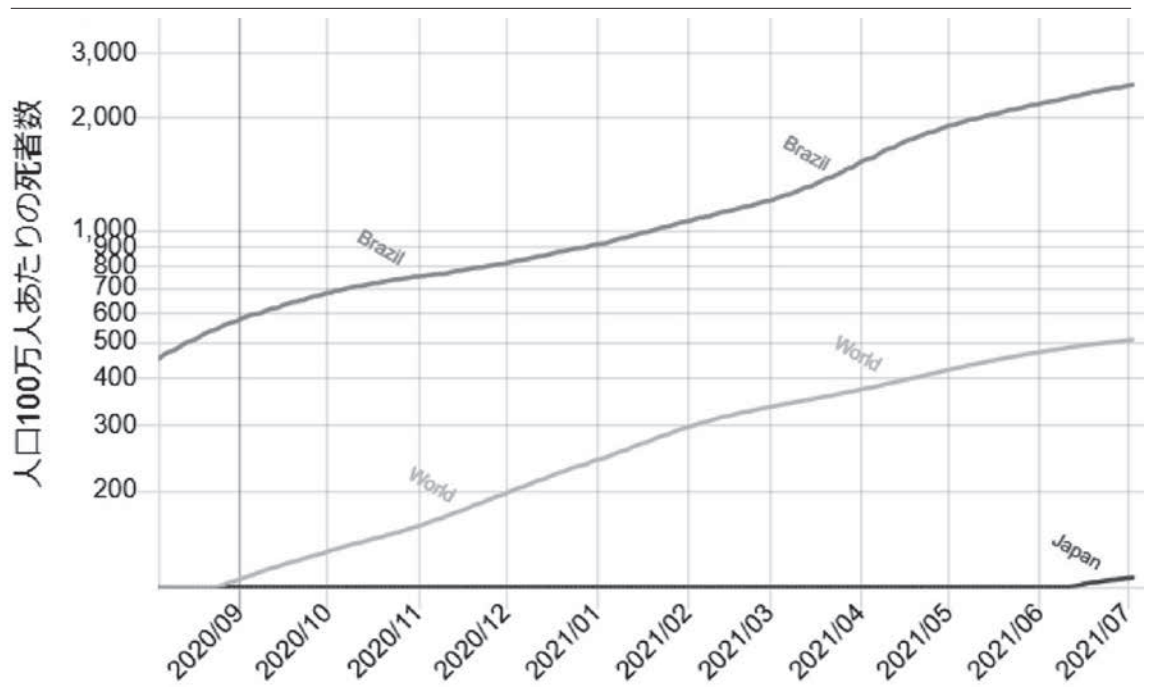
もしも、「自然感染による集団免疫」で８０％に達するには、サンパウロ市だけであと３万人が亡くなる必要がある。そうなれば、約２００人に１人、人口の０・５％がコロナで亡くなる計算だ。

「人口の０・５％」をブラジル全体に適用すると１０６万人になる。現在のコロナ死者５２万人が２倍にならないと、「自然感染による集団免疫」にはならない。

一方、日本はワクチン接種を始めたのが世界で最も遅い先進国だった。だがそれは、しなくても他先進国に比べて抑えられていたからだ。しっかりとマスク着用して社会的距離をとれば、ブラジルも１５分の１に抑えることができたかもしれない。それなら、現在５２万人の死者がわずか３万５千人で済んだ。

だから、６月２５日のコロナ禍議会調査委員会で疫学専門家ペドロ・ハラル氏は《ブラジルは４０万人のコロナ死を避けることができた》（https://br2pontos.com.br/nacional/pedro-halal-na-cpi-brasil-poderia-ter-evitado-400-mil-mortes-por-covid-epidemiologista-renomado/）と証言した。やりようによっては「４０万人以上」が死なずに済んだと専門家も証言している。

逆に言えば、ブラジルはそれだけひどくても大規模な医療崩壊をせずに乗り越えてきたのに、日本はわずかな感染拡大で大騒ぎをしている。感染症の入院体制を有事に切り替えて臨機応変に対処できなかった点は、日本にとって大きな課題を残したといえる。



パンデミックで平均寿命が３・１年短縮

６月２９日付UOL記事《ネイチャー誌 ブラジル人の平均寿命が３・１年減少》（https://noticias.uol.com.br/saude/ultimas-noticias/redacao/2021/06/29/natureza-diminuiu-31-anos.htm）によれば、昨年２０２０年だけでブラジル人の平均寿命は１・３年減り、今年は１・８年も短くなった。つまり、パンデミックが始まって以来、３・１年も平均寿命が短くなっている。

これは科学雑誌「ネイチャー」に掲載された論文の内容だ。２０１９年の平均寿命は７６・６年で前年より３カ月延びていた。当時、男性は７３・１歳、女性は８０・１歳だった。

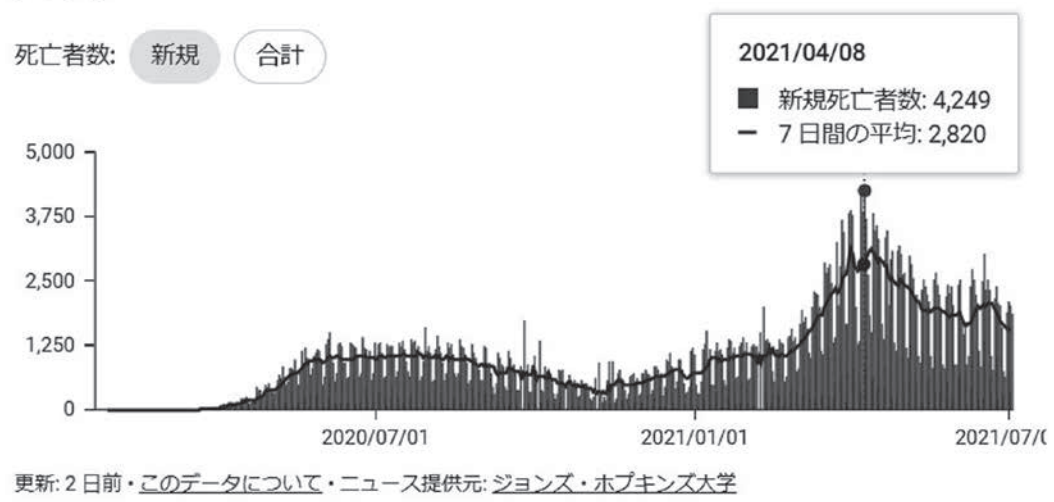
ところが２０２０年には男性が１・５７年、女性が０・９５年も短くなった。地域別に見るとアマゾナス州では３・４６年、次にアマパー州３・１８年、パラー州２・７１年も短くなり、北伯でのダメージがいかに酷かったかが一目瞭然だ。

同記事の締めくくりには、次のような厳しい未来予測が書かれている。

《コロナはブラジルの基礎的医療サービスを止めてしまった。早期ガン発見などのサービスは３５％の死亡率削減など達成していたが、コロナで悪影響を被った。特に北伯における貧困層の幼児への各種予防ワクチン接種も激減した。結核やＨＩＶ治療も中断されたケースが多く、今後５年間の死亡率上げることが予想される。

パンデミック中に体を動かすことを止めたために糖尿病などのリスクが上がったこと、定期検診を受けなくなったことなどで持病を悪化させる可能性が高まっている》と、昨年来のパンデミック中の健康被害が、今後数年の間に徐々に出てくることを予想している。

６月２５日のコロナ禍議会調査委員会で証言する疫学専門家ペドロ・ハラル氏（Foto: Jefferson Rudy/Agência Senado）



ブラジルのコロナ死亡者数の推移（グーグルニュース）

社会と経済の再開がもたらす変化

長い、長いトンネルの先に明かりが見えてきたことで、今後は経済、政治、教育、文化、社会など全ての面で変化が現れてくる。

今後だんだんと社会が活動再開を始めていく中で、若者を中心に感染者数は増えていく可能性がある。だが、その人たちが重症化しないのであれば、入院する必要はないので、医療崩壊にはつながらない。

今後は感染者数の増減に一喜一憂するのでなく、もっと入院者・重症者に注目する段階になったと言えそうだ。

この流れの中で、サンパウロ市のリカルド・ヌネス市長は１日の記者会見で、年末のレベイロン、来年のカーニバル、大型音楽イベントなどの再開を示唆する発言をさっそくして話題を呼んでいる。

明らかにパンデミックの潮目が変わってきている。ただし、現在のワクチンが効かない変異株が出てきたら、一からやり直しになるので、まだまだ注意は必要だ。

注意しなくてはならないのは、パンデミック前と同じ状態に戻るわけではないことだ。

インターネット販売、デリバリー、ホームワークなどの労働様式、インターネットを通して自宅でオンラインイベントに参加したり映画などを見る娯楽形式、流感時のマスクや家で靴を脱ぐ習慣など、多くものが以前と同じ状態には戻らないと予想される。

特に今後注意をすべきは、来年の選挙に向けて大統領に対する風当たりがさらに強くなりそうな点だ。大統領を直接巻き込んだコバクシン不正黙認疑惑が、罷免まで発展するのかどうか。国民はピポカ（ポップコーン）を片手に、ＣＰＩの様子をテレビ越しにじっくりと見ている。（深）

５月８日、アマゾナス州マナウス市で墓参りする人々（Fotos: Valdo Leao / Semcom）

米国のコロナ克服「近い」

闘い続くとバイデン氏 独立記念日に接種訴え

【ワシントン共同】バイデン米大統領は独立記念日の4日、ホワイトハウスで演説し、新型コロナウイルスの克服は「限りなく近い」と訴えた。ウイルスとの闘いは終わっていないとも強調、ワクチン接種こそが「愛国的」な行動であり、感染力が強い「デルタ株」に備え接種を受けるよう改めて国民に呼び掛けた。

米国ではワクチン接種完了などを条件にマスク着用が原則不要で、着用者は激減。正常化に向け楽観的な雰囲気が漂う。だが独立記念日までに成人の70％が少なくとも1回のワクチンを接種する目標は未達成で、疾病対策センター（CDC）によると67％。

バイデン氏は、新型コロナ対策に当たる医療、軍関係者ら千人以上を前に「新型コロナの世界的大流行とそれに伴う孤立、痛み、恐怖、喪失の暗闇から脱しつつある」と語り、ワクチン普及を進めた自身の政権下で状況が大きく改善したとアピールした。「ウイルスはまだ克服できていない」と慎重な姿勢も示した。

独立記念日は家族や友人が集まって過ごすのが伝統。4日は独立から245年で、バイデン氏はこの日までに社会の正常化に道筋を付けると表明、国民に協力を求めていた。

首都ワシントンでは、独立記念日恒例の花火を見るために多くの人々がマスクを着けずに中心部に繰り出した。全米各地でも記念イベントが行われたが、マスク姿はほとんど見られなかった。

バイデン氏はワクチン開発に当たった科学者や最前線で闘う医療関係者に感謝を示し、累計の死者約60万人を追悼した。死者は減少傾向にあるが、直近1週間で約1500人が亡くなり、依然として厳しい状況が続いている。

NYでホットドッグ大会

毎年恒例、10分で76個

【ニューヨーク共同】米独立記念日の4日、ニューヨークのコニーアイランドで恒例のホットドッグ早食い大会が開かれた。新型コロナウイルス流行が沈静化し、2年ぶりに観客を迎え開催。男性の部ではジョーイ・チェスナットさん（37）が規定の10分間で76個を食べ、大会新記録で14回目の優勝を果たした。

女性の部では、昨年まで7連覇した米国在住の須藤美貴さん（35）は妊娠中のため欠場。31個食べたミシェル・レスコーさんが初優勝した。チェスナットさんはソーセージとパンを順に口に押し込み、飲み物で流し込む方法で、約8秒で1個食べた計算。「観衆が後押ししてくれた。最高に幸せだ」と語った。

ニューヨークでは新型コロナのワクチン接種が進み、陽性率は1％を切っている。会場の野球場ではマスクを着けずに声援を上げる観客の姿が多かった。

EU使い捨てプラ食器禁止

欧州海岸ごみ7割減

世界の海洋対策主導

【ブリュッセル共同】欧州連合（EU）で3日、プラスチック製や発泡スチロール製の使い捨て食器や食品容器の市場流通を禁止することなどを盛り込んだ新規則が施行された。欧州委員会は海洋ごみの80％がこうしたプラごみだとしており、新規則実施で欧州の海岸を汚すごみが70％減るとラッシュを当てれば反射するため見破ることができる可能性もある。

IT企業マネーフォワードの滝俊雄フィンテック研究所長は「他人が勝手に作った口座が犯罪に使われる恐れがある。オンライン認証はさまざまなサービスで使われており、強固なシステムの構築が必要だ」と話した。

日立は「研究はセキュリティーの強化に必要なプロセスだ。さらなるセキュリティー強化に向けて取り組んでいく」としている。

推計している。

EUは世界のプラごみ対策の主導権を握る構え。欧州委のティメルマンス執行副委員長は新規則について「人々の健康と地球を守る後押しとなり、持続可能なビジネスを刺激し、循環型経済に近づく」と述べた。

禁止対象は外食産業の使い捨てスプーンやフォーク、ストロー、皿など海岸を汚す上位10品目を選んだ。プラスチック素材を使った漁網や食品包装、たばこフィルターなどの回収・処理費用の製造者負担や使用制限も規定した。

日本では6月、プラごみのリサイクル強化と排出削減を目指す新法が成立し、来年4月施行を目指しているが、禁止にまでは踏み込んでいない。

EUは使用済み飲料ペットボトルの回収率も向上させ、2025年までに77％、29年までに90％とすることも定めた。

プラスチック以外に選択肢がないものは例外的に流通を認める。EUは新型コロナウイルスで打撃を受けた経済を立て直す「復興基金」創設のため、使い捨てプラ製品への課税を検討している。コロナ禍で使用が急増した使い捨てのマスクや手袋などは規制の対象外。

犯罪防止へ対策提案

AI偽動画、顔認証突破

成り済まし口座開設可能

日立が論文公表

【共同】人工知能（AI）を使って偽動画を作る「ディープフェイク」の技術を使うと、銀行口座を開設する際のオンライン認証で、本人に成り済まして顔認証を突破できる恐れがあることが3日分かった。日立製作所の研究グループが論文を人工知能学会で発表した。犯罪に悪用される恐れもあり、偽動画を見破るための対策が必要と提案している。

オンラインの本人確認システムは「eKYC」と呼ばれ、利用者がスマートフォンで撮影した本人の免許証などと一緒に、カメラの前で本人の動画や顔写真を提示する仕組み。両方が同じなら同一人物と認識する。非対面で即座に本人と確認できるメリットがあり、金融機関などで導入が進んでいる。

研究グループは、顔写真から偽動画を作成できるアプリを利用。免許証に記載されている顔と同一人物の写真を使い、偽動画を作成した。実験用に作った模擬認証システムに免許証と作成した偽動画を送るとシステムは同一人物と判定した。

対策としては、顔認証のほかに指静脈など別の生体認証と組み合わせたり、スマホのSIM番号を登録させたりするのが有効としている。作成された偽動画は撮影時にフ

米上場企業へ圧力強化か

中国、相次ぎアプリ調査

【北京共同】中国の規制当局は5日、国家の安全に関わるとして、中国のインターネット企業が手掛ける3アプリの調査を始めたと発表した。配車サービス大手、滴滴出行（ディディ）への調査と処分に続く措置。いずれの企業も米市場に株式を上場したばかりで、こうした企業の個人情報の取り扱いを巡り習近平指導部が圧力を強めている可能性がある。

対象となったのは求人アプリ「BOSS直聘」と、トラック配車大手「満幇集団」が手掛ける2アプリ。国家安全法やインターネット安全法に基づいた調査としており、期間中は顧客の新規登録が停止される。

BOSSの運営会社は米ナスダック市場、満幇はニューヨーク証券取引所にいずれも6月、上場した。満幇へはソフトバンクグループも出資している。

中国国家インターネット情報弁公室は4日、ディディに対し、違法に個人情報を収集したとしてアプリのダウンロードの停止を命じたばかり。ディディも6月に米国で上場している。

中国では今年、米電気自動車（EV）大手テスラの車載カメラによって個人情報が米国に流出するなど、情報の取り扱いを巡って米国への反発が高まっている。

昨年11月には、中国ネット通販大手アリババグループ傘下の金融会社アント・グループが中国市場で上場直前に中国当局が規制を強化し、上場が延期になった。習指導部はIT大手が中国社会で存在感を増すこと自体も警戒している。

「米中戦争」想像し回避を

元海軍大将の小説、話題に

【ワシントン共同】2034年の南シナ海を舞台に、米国と中国が戦争に突入する―。緊迫する両国関係の近未来像を描いた小説「2034」が米国でベストセラーとなり、話題を呼んでいる。著者のジェームズ・スタブリデス退役海軍大将は共同通信とのインタビューで、衝突の危険は間近に迫っていると指摘。「米中の戦争がいかに背筋の凍るものになるか想像し、回避策を考えるべきだ」と訴えた。

スタブリデス氏は北大西洋条約機構（NATO）欧州連合軍の最高司令官などを歴任し、地政学に関する著作もある。冷戦期には米国と旧ソ連の戦争を想定した映画や小説が数多く登場し「悲惨な事態をイメージでき、戦争の抑止に一役買った」と話す。米中関係が「新冷戦」と言われるほど悪化する中、衝突の具体的なシナリオを描こうと思い立った。

南シナ海で「航行の自由」作戦を実施していた米駆逐艦が不審船に近づき、同じころイラン上空で米海兵隊の最新鋭ステルス戦闘機F35が制御不能に陥る。中国のサイバー攻撃で米国の軍事的優位性は消滅。誤解と誤算に、米ホワイトハウスと中国共産党内の主導権争いも絡み、事態は核攻撃へとエスカレート―。

元海兵隊員のエリオット・アッカーマン氏と共同執筆し、今年3月に発売された小説はすぐに反響を呼んだ。外交官や米軍幹部からは「一点だけ大きな間違いがある。衝突は34年よりもずっと早く起きるかもしれない」と言われたという。

スタブリデス氏は、中国との戦争を回避するため米国は明確な戦略を立てるべきだと指摘し、米軍の近代化などによる抑止力強化を訴えた。「中国のような権威主義国家に対し、民主主義国家は一致して立ち向かうべきだ」と述べ、日米、インド、オーストラリアの協力枠組み「クアッド」などの連携が重要になると強調した。小説の日本語訳版は9月に出版予定。

脱炭素、課税強化議論へ

G20財務相が環境対応加速

【ワシントン共同】日米欧の先進国に新興国を加えた20カ国・地域（G20）財務相らが、二酸化炭素（CO2）排出に応じて課税する「カーボンプライシング」の本格導入に向けた議論に着手することが5日分かった。石炭など化石燃料の使用に抑制をかけ、脱炭素社会の実現へ税財政分野でも動きを加速させる。複数のG20関係者が明らかにした。

イタリアで9、10日に開く財務相・中央銀行総裁会議で表明する方向だ。共同声明でカーボンプライシングを論点に挙げ、議論を始める方針を明記する。国際通貨基金（IMF）などの機関が各種施策の効果を研究。10月の首脳会合で制度全般への支持を打ち出すことを視野に入れる。

カーボンプライシングは、地球温暖化の影響を価格に反映させ、企業や消費者の行動を脱炭素化へ誘導するのが狙いだ。CO2排出量に応じて課税する「炭素税」のほか、あらかじめ排出枠を設定して上限を超えた分や余った分を売買する「排出量取引」などが含まれる。

日本では2012年に化石燃料の税率を上乗せする地球温暖化対策税を創設。ただ、欧州に比べて負担が小さく、菅政権は炭素税の本格導入などの追加策を検討している。産業界では企業の負担増への懸念が根強いが、国際社会の機運の高まりが追い風となりそうだ。

欧米では環境規制が緩い国からの輸入品に課税する「国境調整措置（国境炭素税）」を課す動きもあり、日本企業が今後、追加負担を迫られる可能性もある。

財務相・中銀総裁会議では、気候変動に関連した官民の資金動員や、企業の情報開示の改善についても議論。新型コロナウイルス禍からの回復にばらつきが目立つ中、途上国の温暖化対策への支援も課題となりそうだ。

性的虐待に944億円賠償

ボーイスカウト米国連盟

【ニューヨーク共同】ボーイスカウト米国連盟（BSA）は2日、ボーイスカウトの指導者らから過去に性的虐待を受けたとする元スカウトメンバーらに対し、計8億5千万ドル（約944億円）を支払うことで被害者側と合意したと発表した。米メディアによると、被害者は8万人を上回り、うち大半の代理人と合意した。被害は数十年前までさかのぼるという。

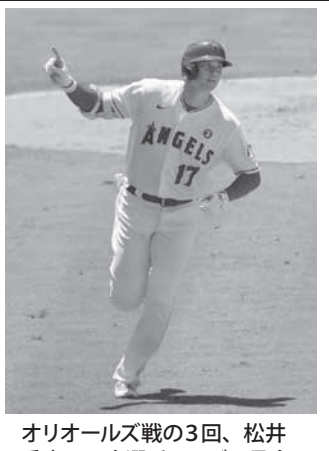
賠償総額は、子どもへの性的虐待に関するものとしては米国で過去最高規模。最多の被害者を抱える弁護士事務所によると、多くは現在60～70代で、10代の頃に性的虐待を受けた。

米国のボーイスカウト運動は1970年代に参加者が400万人を超えたが、近年は低迷。1910年に設立されたBSAは、2019年から女子の参加も認めている。

BSAは昨年2月、訴訟続発を受け、資産保全を図るためとして連邦破産法11条（日本の民事再生法に相当）の適用を裁判所に申請していた。

大谷、初の月間MVP

大リーグ日本野手3人目



オリオールズ戦の3回、松井秀喜の日本選手シーズン最多本塁打記録に並ぶ31号ソロを放ったエンゼルス・大谷＝アナハイム（共同）

【アナハイム共同＝松下裕一】米大リーグ機構は2日、6月の月間最優秀選手（MVP）を発表し、ア・リーグ野手部門でエンゼルスの大谷翔平（26）がメジャー4年目で初選出を果たした。日本の野手ではイチロー、松井秀喜に続き3人目。

25試合に打者出場し、リーグトップで月間自己最多の13本塁打、打率3割9厘、23打点、4盗塁。表彰は野手としてだが、投手でも5試合で2勝0敗、防御率4・94と投打の「二刀流」でも活躍した。同日の本拠地アナハイムでのオリオールズ戦では29、30号を放ち、2004年の松井秀喜（ヤンキース）に続き日本選手2人目のシーズン30本塁打に到達。試合前にオンライン会見した大谷は「ここからもう一回仕切り直して、シーズンのもう半分をしっかりと頑張りたい」と一層の活躍を誓った。

藤井「初心に戻って」

棋聖初防衛、最年少九段

棋聖戦初防衛から一夜明けの記者会見で、「初心」と書いた色紙を披露する藤井聡太棋聖＝4日午前、静岡県沼津市（共同）

【共同】将棋界最年少の18歳11カ月でタイトルを初防衛し、10代初の九段になった藤井聡太棋聖＝王位との二冠＝（18）が4日、棋聖獲得から一夜明けて静岡県沼津市で記者会見し、「結果に満足することなく、初心に戻って前を向いていきたい」と喜びをかみしめた。

「初心」と書いた色紙を手に笑顔を見せた藤井棋聖。今シリーズは現役最強ともいわれる渡辺明三冠（37）との対戦で、注目を集めた。3連勝で強者を退けた5番勝負について「タイトルの重みを感じながらの戦いだった。その中で結果を出せたのは大きなことだった」と振り返った。

藤井棋聖はタイトル通算3期目の獲得となり、規定により九段昇段。渡辺三冠の21歳7カ月を抜いて、最年少で九段に昇段した。

今後は、6月29、30日に開幕した王位戦7番勝負、25日から始まる叡王戦5番勝負で竜王、叡王を持つ豊島将之二冠（31）と対戦。重要な対局が続く藤井棋聖は「（豊島二冠について）強さを感じている。いい機会をもらえたので、新たな発見や手応えがあればと思う」と意気込みを語った。

1日にはオールスター戦（13日・デンバー）のファン投票で、指名打者で初選出。「野球選手にとって目指すべき場所で、すごく光栄なこと」と感想を述べた。注目の二刀流でのプレーには「できないなと思うことはない。投げてほしいと言われれば投げると思う」と前向きに話した。

月間MVPは過去、日本投手ではダルビッシュ有（パドレス）田中将大（現プロ野球楽天）らが受賞している。大谷は18年の4、9月、今年6月に週間MVPに輝いた。

綱とりへ重圧感じさせず

照富、落ち着いて2連勝

【共同＝伊藤彰】どっしりした雰囲気からは、限られた力士にしか経験できない挑戦への重圧を感じさせない。綱とりを目指す照ノ富士が進境著しい新小結の若隆景をじっくりと退けて2連勝。「落ち着いて取れて良かった」と表情を緩めずに話した。

立ち合いで左上手を取って左へ回り込んだ若隆景に対し、慌てない。途中で両下手に変わったが、大関は左で抱えて相手の動きを止める。もろ差しの寄りもしっかりこらえ、すかさず左上手を引いて反撃。胸を合わせた盤石の寄りで勝負をつけた。

攻防の中で強引な小手投げなどに出るそぶりはなく「流れでそうなっているだけ。特に狙ってやっているわけではない」と無意識を強調。常々、口にしている「稽古場でやってきたことしか場所で出ない」との言葉通り、普段の鍛錬が体に染みついているようだ。

照ノ富士について、土俵下で勝負を見守った藤島審判長（元大関武双山）は「やっぱり自信があるという証拠でしょう」と言う。八角理事長（元横綱北勝海）は「昨日、今日ではなく、この1年で『負けないんだ』という自信を取り戻している」と、序二段からの劇的な復活劇の中で蓄積されたものだと指摘した。

遠藤、若隆景とうるさい相手を冷静に下しての好スタート。照ノ富士は「まだ始まったばかり。ここからだ」。心身ともに良好の状態で、3連覇も懸かる千秋楽までの闘いを見据えた。

照ノ富士（右）が寄り切りで若隆景を下す＝ドルフィンズアリーナ（共同）

久々の地方場所、力士歓迎

広報部長も「喜び大きい」

【共同】大相撲名古屋場所は1年4カ月ぶりの地方開催となり、力士らからは歓迎の声が相次いだ。綱とりの大関照ノ富士は「久しぶりの地方場所。お客さんを盛り上げていきたい」と意欲十分だった。

好内容で白星発進した大関正代も「ずっと東京での稽古だったので気分転換というか、違った感覚で相撲が取れた」と明るい表情で話した。平幕北勝富士は「久しぶりの地方場所で楽しんでいけたら。一日一番集中し、2桁勝利を目指したい」と力を込めた。

VENDA em BANCA

Nikkey Shimbun
ニッケイ新聞

ANO XXIV – Nº 5766　SÃO PAULO, TERÇA-FEIRA, 6 DE JULHO DE 2021　R$ 6,00

自民33、都民ファ31で拮抗

東京都議選投開票

首相「謙虚に受け止める」
女性、過去最多の41人

【共同】4日投開票の東京都議選（定数127）は自民党が改選前の25議席を上回る33議席を獲得して第1党となったが、擁立候補23人全員が当選した公明党と共同での過半数には届かなかった。小池百合子知事が特別顧問を務める地域政党「都民ファーストの会」は31人で自民と拮抗。女性は過去最多の41人が当選した。

東京都議選の開票が進む中、記者団の質問に答える都民ファーストの会の荒木千陽代表（右）とテレビ局の中継インタビューに答える自民党の鴨下一郎都連会長＝4日夜、東京都内（共同）

番目に低く、前回より8・89ポイント低かった。

自民は勝敗ラインと位置付けた公明党との過半数を獲得できず、都民ファと自公で激しく争った選挙区も。当初は大幅減と目された都民ファが選挙戦終盤に巻き返す要因となった小池氏とは今後も因縁を引きずり、議会運営は主導権争いによる流動化も懸念される。

都幹部は「自公と都民ファの3会派でもめることになりそうだ。職員は複雑な対応を求められることになるだろう」と不安を隠さない。別の幹部は「われわれの調整力が問われそうだ」と気を引き締めた。

小池氏は過労による入院に伴い選挙戦で姿を見せたのは最終日の3日のみ。それでも選挙結果に大きな影響を及ぼした。職員の一人は「知事はまだまだ自分の存在感が抜群だということを示すことができたので、勝利と言える結果だったのではないか」と振り返った。

共産は改選前から1議席増の19人が当選し、7議席だった立民も2倍以上の15人が議席を確保した。両会派は東京五輪・パラリンピックへ批判的な立場を取っており、開幕まで3週間を切った中で攻勢を強める可能性がある。五輪準備担当の都庁職員は「いろいろな声があるのは理解しているが、安心安全な大会に全力を尽くす」と話した。

地域政党「東京・生活者ネットワーク」と日本維新の会の各1人、無所属の4人も当選した。

菅義偉首相は5日、「自公で過半数を実現できなかったことは謙虚に受け止めさせていただきたい」と述べた。共産党と立憲民主党も議席数を上積みしており「冷静にしっかり分析して次に備えたい」とした上で、第1党を踏まえ「都政、都民のために全力で取り組みたい」と語った。

投票率は42・39％で、過去最低だった1997年の40・80％に次いで2

都議会「オール東京で」
小池氏、二階幹事長と会談

【共同】東京都の小池百合子知事は都議選の投開票から一夜明けた5日、自民党本部で二階俊博幹事長と会談後、報道陣の取材に応じ「都と都議会が両輪として新型コロナウイルス対策や経済問題をしっかりとオール東京でやっていくと共有した」と述べた。

特別顧問を務める「都民ファーストの会」の選挙結果については「4年間にわたり、議員条例の制定や日々の地元での活動を重ねてきた結果が今回の議席数につながった」との認識を示した。

小池氏は二階氏と約40分にわたって会談。新型コロナの現状やワクチンの接種が話題に上ったと説明した。国政転身への見方については「私はそういう意思を一度も言ったことはない。なぜそう報道されるのか分からない」と否定した。

都議選は定数127に対し、自民党が33議席を獲得して第1党に復帰したが、23議席の公明党との合計は過半数に届かなかった。都民ファも31議席を得て議会運営の主導権争いも予想され、小池氏の対応が注目される。

自民党の二階幹事長との会談を終え、党本部を後にする東京都の小池百合子知事＝5日午後、東京・永田町（共同）

自民党
幹事長ポスト見据え火花
秋想定、二階氏と「3A」

【共同】自民党内で秋に想定される党役員人事を見据えた主導権争いが激しくなっている。焦点は、二階俊博氏が歴代最長の約5年にわたって座り続ける幹事長ポストだ。党内にはカネと人事を握り、権勢を振るう二階派への不満がくすぶる。二階氏と、安倍晋三前首相、麻生太郎副総理兼財務相、甘利明税制調査会長の「3A」が、新設の議員連盟を舞台に火花を散らす。

発端は、5月21日の「半導体戦略推進議連」の設立だ。甘利氏が会長を務め、安倍、麻生両氏が最高顧問に名を連ねた。麻生氏は「A（安倍）、A（麻生）、A（甘利）。3人そろえば何となく政局という顔だ」と笑いを誘ったが、党内には「二階氏は交代せよというメッセージ」（中堅）との受け止めが広がった。

6月8日、首相官邸の執務室。二階氏最側近の林幹雄幹事長代理は菅義偉首相に、二階氏が会長として主導する「自由で開かれたインド太平洋」を推進する議連の新設を報告した。手土産として、二階氏が託した地元・和歌山県産の梅干しを渡し、了承を取り付けた。

議連設立に首相の承認は必要ないが、林氏があえて「官邸詣で」をしたのは「影響力の誇示」（閣僚経験者）が狙いとみられる。議連には全派閥から150人以上が入会。最高顧問に安倍氏を招き、3Aの分断を図った。二階派幹部は「二階氏は、けんかに負けたことがない」とうそぶく。

党内の関心は、次期衆院選と総裁選、人事に集まる。首相は無派閥出身で党内基盤が弱い。二階氏を政権運営のよりどころとする一方、安倍氏が影響力を持つ最大派閥の細田派や、甘利氏も所属する第2派閥の麻生派への配慮も欠かせない。議連は、双方が政治力をアピールする絶好の場だ。

6月15日、党内に緊張が走った。両議連の会合が、同じ午後5時にセットされたためだ。党内からは「踏み絵を迫るのか」（ベテラン）と戸惑う声が漏れた。結局、半導体議連側が開催を30分繰り下げたことで“正面衝突”は避けられたものの、後味の悪さが残った。

このほか、総裁選再出馬を目指す岸田文雄前政調会長が発足させた「新たな資本主義を創る議連」には3Aが顔をそろえた。一方、二階氏は新設した「自治会・町内会等を応援する会」でも、安倍氏の取り込みを図る。

安倍、二階両氏は6月30日夜、ウーロン茶で乾杯しながら会食し、融和ムードを演出した。だが、党重鎮はこう苦言を呈する。「議連ごっこで権力争いをする姿が、新型コロナウイルス禍に苦しむ国民の目にどう映るかを考えるべきだ」

所在不明64人の氏名公表
72時間にらみ懸命の捜索

静岡・熱海の土石流、死者4人に

大規模な土石流で多くの建物などが押し流された現場＝4日午前11時55分、静岡県熱海市伊豆山（共同通信社ヘリから）

【共同】静岡県熱海市伊豆山の大規模土石流で、県は5日、所在不明者の手掛かりとなる情報を得るため、64人の氏名や住所を公表した。被災者の生存率が急激に下がるとされる「72時間」が近づく中、県警や消防、自衛隊などは発見救出に向け懸命の捜索を続行。市は同日、新たに女性2人の死亡を確認したと発表し、死者は女性計4人となった。流失家屋は少なくとも130棟で、市は住民基本台帳を基に所在不明者の確認作業を進めており、居場所が分かっていないのは4日時点の147人から順次減っていた。さらに絞り込むため、氏名や住所といった個人情報を公表すると決めた。64人の内訳は男性35人、女性29人。

政府は5日、菅義偉首相がトップの非常災害対策本部を開いた。5月施行の改正災害対策基本法で本部長を防災担当相から格上げしてから初。

政府 非常災害対策本部設置

一方、土石流の起点にあった土について、市は2007年に当時の所有者だった神奈川県小田原市の不動産管理会社が処分した残土とみられると説明。同社の元幹部は取材に「熱海市に届け出て盛り土をした。豪雨はこれまでもあったが、崩れなかった」と話し、責任を否定した。市などはこの土を含む計約10万立方メートルが崩れ落ちたとみて調査。川勝平太知事は5日午後、現場を視察し「長雨の蓄積が原因で、盛り土と一緒に土砂が流れて被害を大きくした」と述べた。

市によると、死者4人のうち1人は鈴木チヨセさん（82）と確認された。市は残る3人の身元特定を急いでいる。

5日の捜索は、堆積した土砂とがれきがある地域や、倒壊家屋の密集地域などで重点的に進めた。膝まで土砂に漬かりながら、スコップで泥をかき出した。

市は5日、大雨警報と土砂災害警戒情報が解除されていないとして、市立小中学校11校と幼稚園4園を休校・休園にした。市によると5日午後6時現在、計568人が市内のホテルなどに避難している。

土石流は3日午前10時半ごろ発生。6日午前に被災から72時間となる。

土砂に埋まった家の中を警察犬を使って捜索する警察官＝5日午前8時（共同）

現場で不明者の捜索を続ける警察官ら＝5日午後1時31分（共同）

「五輪外交」見通せず
コロナ禍で要人来日未確定

【共同】菅義偉首相による東京五輪・パラリンピックの「五輪外交」が見通せない。大会に合わせた各国要人の来日が、新型コロナウイルス感染状況により固まらないためだ。開幕まで3週間を切った5日時点で出席を表明した首脳級は、2024年パリ五輪開催地となるフランスのマクロン大統領だけ。外交筋は「ふたを開けてみないと分からない」と頭を抱える。

五輪は首脳らが往来する好機となる。開・閉会式出席や競技観戦に訪れ、開催国の首脳らと会談するケースは多い。政府もコロナにより延期が決まる前は、開会式に100を超える国・地域の首脳級が訪れても対応できる準備を進めていた。

外務省によると、12年ロンドン五輪の開会式には約80カ国・地域の首脳級が出席した。16年リオデジャネイロ五輪では閉会式に、当時の安倍晋三首相が人気ゲーム「スーパーマリオブラザーズ」のマリオ姿で登場したのが記憶に残る。

東京大会は、マクロン氏が6月の日仏首脳会談で菅首相に開会式出席を伝えた。米国はバイデン大統領の訪問を見送る代わりにジル夫人の開会式参加を調整している。日韓関係の冷え込みから、文在寅韓国大統領の来日の有無も注目される。

政府関係者は五輪開会式の首脳級出席について「約40人だったリオ五輪と同水準は期待できる。ただ確定するのは直前になる」と説明している。

コロナ新薬候補
国内で治験開始
発症後に自宅服用も

【共同】新型コロナウイルス感染症治療に絡み、海外の製薬大手2社が口から飲む新薬候補の最終段階の臨床試験（治験）を日本で始めたことが5日、分かった。コロナの特効薬がない中、症状が出始めた段階で自宅でも服用して重症化を防ぐ経口薬として実用化を目指している。

いずれもウイルスの増殖を防ぐ抗ウイルス薬で、米メルクが開発中の「モルヌピラビル」とスイスのロシュが手掛ける「AT－527」。国内外の大人数の患者を対象とした国際共同治験として行われている。

メルク子会社のMSDによると、モルヌピラビルの治験ではコロナと診断された18歳以上で、発熱やせきなどの初期症状があるが入院には至っていない患者に1日2回、5日間投与して、偽薬を投与した患者と比較する。今年9～10月には最終的なデータが得られる見込み。白沢博満代表取締役上級副社長は「自宅で服用可能な経口の治療薬として初期の患者への貢献が期待できる」として、早期の承認申請を目指す。

ロシュの候補薬はもともとC型肝炎治療のために見いだされた化合物だが薬事承認はされていない。軽症から中等症の患者が対象で、提携する中外製薬が日本での手続きを担っている。

いずれも国内治験の規模は明らかにしていない。

新型コロナ治療薬を巡っては、ワクチンを開発した米ファイザーも別の経口抗ウイルス薬候補の初期段階治験を海外で行っている。

また、中外製薬は6月末、抗体医薬「カシリビマブ」と「イムデビマブ」を組み合わせた「抗体カクテル療法」を厚生労働省に承認申請した。軽症や中等症が対象で、点滴で投与するため、医療機関での使用が中心となる。

台湾有事で自衛権行使も
麻生氏「日米で守る」

【共同】麻生太郎副総理兼財務相は5日、東京都内で講演し、中国が台湾に侵攻した場合、集団的自衛権行使を可能とする安全保障関連法の「存立危機事態」として対処すべきだとの見解を示した。「台湾で大きな問題が起きれば、存立危機事態に関係すると言ってもおかしくない。日米で台湾を防衛しなければならない」と述べた。

沖縄選出の自民党議員の政治資金パーティーで講演。台北市でのデモや騒動に中国が軍隊を派遣して「中国の内政問題だ」と主張する有事シナリオを紹介した。その上で「次は沖縄。そういうことを真剣に考えないといけない」と強調。「日本を防衛する力をきちっと準備しないといけない」とも訴えた。

安保法は存立危機事態に関し「密接な関係にある他国への武力攻撃が発生し、日本の存立が脅かされ、国民の生命、自由、幸福追求の権利が根底から覆される明白な危険がある事態」と定義。「他に適当な手段がない」「必要最小限度の実力行使」などの要件を満たせば、集団的自衛権の行使を認めている。

日本大使館員宅に押し入る
捜索狙いミャンマー部隊

【共同】国軍がクーデターで全権を握ったミャンマーの治安部隊が最大都市ヤンゴンで4月、日本大使館員や国際協力機構（JICA）職員の自宅に押し入っていたことが4日分かった。日本政府関係者が明らかにした。反国軍の民主派捜索が目的だったとみられ、日本人だと分かると危害を加えることなく引き揚げた。

外交官の不逮捕特権や財産保護を定めたウィーン条約に違反するとして、大使館はミャンマー側に厳重抗議した。その後、同様の事案は起きていないという。

関係者によるとヤンゴンで4月17日夜、日本人をはじめ外国人が多く入居する集合住宅に銃を携行した治安部隊が侵入。大使館員宅には玄関まで入り、JICA職員宅ではリビングまで押し入った。

民主派の拘束が当時相次いでおり、同18日にはヤンゴン在住のフリージャーナリスト北角裕樹さんも逮捕された。北角さんはその後、解放され帰国した。

ミャンマーの人権団体「政治犯支援協会」によると2月のクーデター以来、国軍の弾圧で890人が死亡した。

大相撲番付表（共同）

	[東]	初2		[西]	初2
横綱	白鵬	○○			
大関	照富士	○○	大関	貴景勝	○●
大関	正代	○○	大関	朝乃山	やや
関脇	高安	やや	関脇	御嶽海	●○
小結	若隆景	●●	小結	明生	●●
前頭	遠藤	●●	前頭	大栄翔	●●
2	隆の勝	●●	2	逸ノ城	○○
3	北勝富	○○	3	翔猿	○●
4	琴恵光	●○	4	千代大	●○
5	隠岐海	○●	5	豊昇龍	○○
6	阿武咲	●○	6	霧馬山	○●
7	妙義龍	●●	7	千代翔	○○
8	宝富士	●●	8	碧山	○●
9	英乃海	●○	9	志摩海	●○
10	玉鷲	○○	10	照強	○●
11	魁聖	●●	11	琴ノ若	○○
12	栃ノ心	●●	12	輝	○●
13	千代丸	●○	13	宇良	○●
14	大奄美	●●	14	千代皇	●○
15	剣翔	○○	15	徳勝龍	○○
16	千代国	●○	16	石浦	●●
17	一山本	○●			

日本プロ野球順位表（共同）

		勝	敗	分	率	差
セ（4日）	阪神	44	28	3	.611	
	巨人	40	27	10	.597	1.5
	ヤクルト	38	29	9	.567	2.0
	中日	28	38	11	.424	9.5
	DeNA	28	40	9	.412	1.0
	広島	25	40	9	.385	1.5
		勝	敗	分	率	差
パ（5日）	オリックス	40	29	10	.580	
	ソフトバンク	34	32	14	.515	4.5
	楽天	34	32	11	.515	0.0
	西武	36	34	10	.514	0.0
	ロッテ	31	34	14	.477	2.5
	日ハム	26	41	8	.388	6.0

JORNAL ニッケイ新聞 NIKKEY SHIMBUN

EDITORA JORNALÍSTICA UNIÃO NIKKEI LTDA.
Rua da Glória, 332, Liberdade,
Cep 01510-000, São Paulo – Sp, Brasil
TEL: (11) 3340-6060
Site: www.nikkeyshimbun.jp/
Facebook: www.facebook.com/NikkeyShimbun/

Diretor Presidente: Raul M. Takaki
Jornalista Responsável: Aldo Shiguti - MTb 36.982
Redator: Masayuki Fukasawa

記事に関するご意見
Redação: redacao@nikkeyshimbun.jp
配達・購読契約に関する連絡
Assinatura: nikkeyshimbun@yahoo.com.br
広告に関する連絡、問い合わせ
Publicidade: anuncio@nikkeyshimbun.jp

Periodicidade: Terça-feira à Sábado

Assinatura

	Anual	Semestral
WEB	R$ 1100,00	R$ 550,00
Impressa	R$ 900,00	R$ 480,00
Digital (PDF)	R$ 500,00	R$ 270,00